

とよなか 環境



ニュースレター

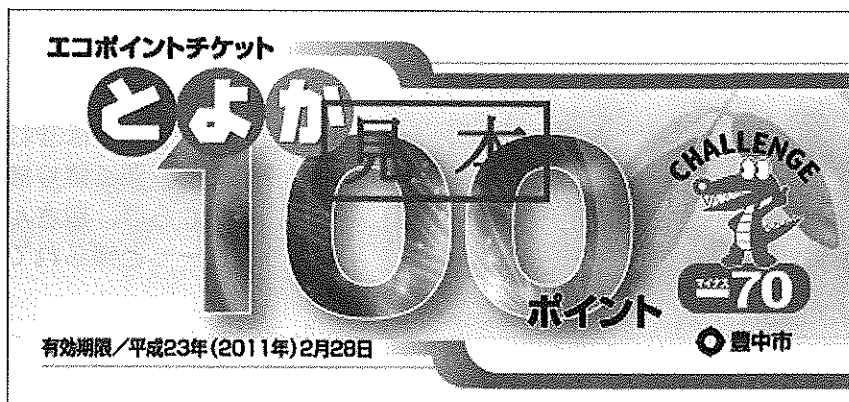
発行：NPO法人とよなか市民環境会議「エタ」21
編集責任者：奥野 享
事務局：豊中市環境情報サロン内
〒561-0804 豊中市曽根南町1-4-3
Tel:06-6863-8792 Fax:06-6863-8734

この号のハイライト

P.1エコポイント/P.2花と緑のネットワーク/P.3むし調べ/P.4生活部会/P.5温暖化対策プロジェクト/P.6環境とわたし/P.7環境政策室/P.8今後のスケジュール

2010年(平成22年)夏号 NO.31 (通巻第49号)

今年もエコポイント「とよか」を発行



まったなしの地球温暖化

豊中市地球温暖化防止地域計画(チャレンジマイナス70プラン)の推進のため、豊中市と当団体とが協働で進めている「省エネ相談会」および「省エネ診断」などを、今年はより内容を充実させて実施しています。

地球温暖化対策を家庭で実践するためには、やはり省エネが重要。昨年13回開催し、のべ765人の参加があった「省エネ相談会」は、今年も商店街や公共施設、イベント会場で積極的に開催し、多くの方が「省エネをやってみよう」という気づきの場、省エネについて気軽に相談できる場として開催しています。参加された方には、エコポイントチケット「とよか」を200円分進呈するほか、豊中市民版の環境家計簿「エコライフカレンダー」を皆さんにお配りして、家庭での省エネ活動を応援します。そして、家庭のエネルギー使用量のデータを2ヶ月分返信いただくと100円分の「とよか」を進呈します。

また、「省エネ診断」では、豊中市に登録したまの電気屋さん「省エネマイスター」が家庭へ訪問し、省エネについての診断を行い、買い替えだけでなく、製品の置き方、使い方など色々なアドバイスをします。昨年は62軒診断しエアコンやテレビな

ど34台の省エネ家電への買い替えがありました。「省エネ診断」では500円分の「とよか」を進呈するほか、買い替えやアンケートの返信でさらに「とよか」を進呈します。

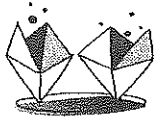
「省エネ診断」は無料のうえ、「とよか」も進呈していますので、是非一度診断を受けてみませんか?

申し込みは12月28日(火)まで受け付けています。

(小篠和之)

とよなか市民環境会議とNPOアジエンダ21の総会を開きます

今年の総会は6月16日(水)13時30分から、豊中市立市民会館で、とよなか市民環境会議とNPO法人アジエンダ21との共催で開きます。冒頭の記念講演をお願いしているのは、中瀬勲さん(兵庫県立人と自然の博物館副館長)で「みんなつながりあって生きていくのは、物多様性」と題したお話です。NPO法人アジエンダ21の総会では役員改選が行われます。



花と緑のネットワークとよなか

レンゲ祭りに参加



食材や燃料の準備、機材の調達など前日から準備し当日スタッフは7人と労働組合からの応援ボランティア3人で臨みました。協力いただいている蛍池の和菓子司照月堂さんの出来たて山菜おこわや草もちも店頭に並べました。ところが、始まって間もなく、にわか雲行きが怪しくなり、丁度お昼前に天気予報がはずれ大粒の雨がタイミング悪く降り続いたのです。それからは、皆さん潮が引くようにさーっと帰られてしまいました。

例年なら1万人以上は来場して家族連れで賑わう祭りですが、れ

戸外の行事は今更ながらお天気が一番だということ思い知らされた4月24日のレンゲ祭り。アジェンダ21は、とよっぴー2・5kgの配布だけでなく、今年から模擬店でも初参加。

子どもたちに野菜を食べてもらおうと「キャベツ焼き」に挑戦。とよっぴー使用の豊中産のネギや菊菜もキャベツに加えました。ところが、今年3月からの長雨と花冷えの異常気象のため、中旬からキャベツの値段がどんどん値上がり、24日頃はちょうど春キャベツが出回る前でもあって倍近い値段に。

んげ摘みもぬかるんで、田んぼに入るのさえやっという場所もあり午後からは、摘む人もまばらでした。今年は14年間連続快晴のレンゲ祭り初めての雨天とか。

肝心の売上げはというと赤字はないけど利益がないという結果(?)

祭りの主役はれんげと太陽であることがよくわかりました。でも今回色々な団体の方々と交流出来ましたし、この場を借りてお礼申し上げます。

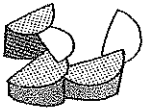
(高島邦子)

落ち葉堆肥のモニター活動を実施中



市内の企業(田中産業KK)と連携して現在、落ち葉を堆肥にする活動を進めています。この活動は田中産業KKが開発したガーデンバッグ(堆肥化容器)を活用して、うまく堆肥にできるか検証するもので、モニターを募集したところ43人から応募がありました。

本年6月段階で中間的な結果報告をまとめる予定で、うまくいけば落ち葉の処理に困っている市民にも呼び掛けて、落ち葉堆肥化プロジェクトとして本格的に広げる夢をもっているところです。(中村義世)



自然部会

写真による豊中の“むし”調べ2009

いつの時代でも記録を残すことは大事なことです。21世紀に入った頃、豊中にどんな昆虫がいたか調べておく必要があるという話が持ちあがりました。その時は調べる方法等でまとまらなくてそのままになっていました。一昨年になって、写真により調べることで話が決まり、昨年4月から調査が始まりました。

自然部会のモットーの一つに、「自然に親しみ学ぶ」という項目があります。これは部会員だけでなく、広く市民の皆さんにもそうあって欲しいと考えているからです。

カメラの機能の発達を武器に、誰でも簡単に参加でき、今まで知らなかった発見にも繋げることができる企画だと考えています。(山口壽)

1500を超える写真を整理して

調査は、市民調査員を広く募集しました。調査員は市内各所で“むし”の写真を撮影し、プリントまたはデータを事務局に提出。それらを自然部会員が整理し、報告書にとりまとめました。

調査対象は昆虫だけに限定せず、調査員が“むし”



コマユバチの幼虫に寄生されたタケカレハの幼虫

と認識した動物を対象としましたが、撮影場所は市内に限定し、ペット等の飼育個体は対象外としました。

調査の結果、合計1,578個体、316種の写真が集まりました。グループ別ではチョウ・ガの仲間が一番多く、甲虫やカメムシの仲間も多く集まり



ナニワトンボ

ました。これらは大きくて親しみがあり、静止することもあって比較的撮影が容易であったためと考えられます。

地区別では千里地区や東部地区が多く、南部地区では全く記録が寄せられませんでした。

これは、島熊山や服部緑地など、市域の北部や東部に良好な自然があることと、調査員の住所(活動場所)もその地区に多かったためと考えられます。

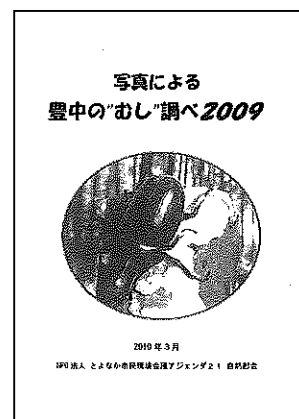
集まった写真の中には、コマユバチの幼虫に寄生されたタケカレハ(ガの仲間)の幼虫といった興味深い生態を捉えた写真や、大阪府下での分布が非常に限られるベニイトトンボやナニワトンボの写真もありました。

これらの調査結果は、「写真による豊中の“むし”調べ2009」報告書にとりまとめています。

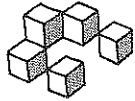
なお、2010年度も継続して調査しますので、どなたでもご参加ください。

今年は特に市域南部の調査を重点的に進めています。

調査参加希望の方は、事務局または自然部会員までお問い合わせ下さい。(柿本修一)



事務局にて頒布1部100円(希望する会員は無料)



生活部会

手作り講習会・裂き織りに挑戦する楽しみ

今回の手作り講習会は、木綿や麻の古布を使っての「裂き織り」です。3月12日13時から15時まで、環境情報サロン2階に織り機4台を用意し、濱名知



子さんを講師に参加者を待ちます。

ほんとうは、織り機に縦糸を張るのに時間がかかるので、5時間ほど前から準備作業をはじめました。この日は参加者5人とスタッフ3人です。私は夏

の木綿のワンピースを裂きテーブルマットを作りました。白地に黒と灰色の樹が描かれ、赤い小鳥が止まっている模様でしたが、そんな布を裂いて織り上げると、赤色がアクセントになった素敵で考えてもいなかった模様のマットができ上がり、感動とともに、古布がまた命を得る喜びを体験できた裂き織りです。

短時間の作業でしたが、丈夫な木綿の縦糸に持ち寄った裂き布の横糸を織りこみ、30×45センチの小型マットを仕上げました。細かな作業手順などについては、事前に講師に資料を用意してもらったので大助かり。参加者にも「書いたものがあるのでよく解りました」と喜んでもらいました。

こんな機会をもっと作ってほしいと言うのが参加者からの感想ですが、織り機の数に制限があるのと、場所も広く必要なので、「また折を見てやりましょう」と言うことにしました。

しかし事前の準備にも手がいるのでこの講習会については参加者だけでなくスタッフも大募集と言うところです。
(新開悦子)

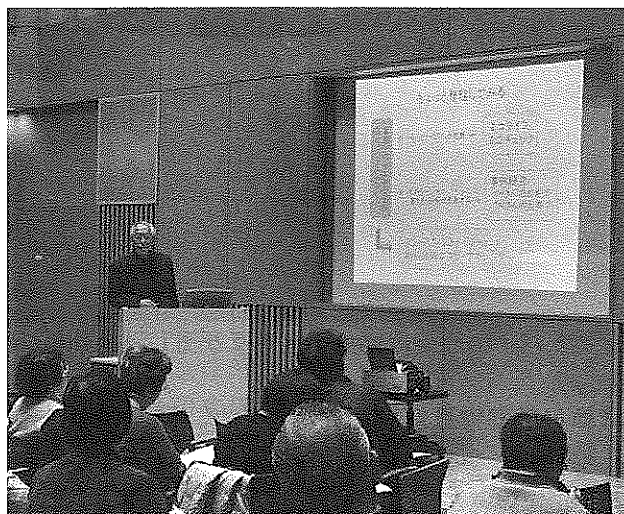
生活情報センターくらしかでエコライフカレンダーの研究発表

3月10日14時から、生活情報センターくらしかでくらしの研究発表会があり生活部会でも「くらしの省エネについて」の発表をおこないました。各報告に割り当てられた発表時間は12分間。事前に提出したA4版12ページの報告によるものですが、当日はパワーポイントを使い右写真のように活動のあらましを図式化して説明しました。

生活における省エネは今や大きな社会問題にもなり、産業界でも家電製品をはじめ省エネ機器に力を入れて製造するようになってきました。また政府も豊中市も省エネ機器への買い換えにはエコポイントがもらえるようにしており、エコライフカレンダーのモニターも豊中市のエコポイント「とよか」の対象になりました。

こうして、私たちを取り巻く状況が大きく変わってきたのも2009年に特徴的でした。

そのような変化を敏感にとらえながら、エコライ



フカレンダーの内容もより斬新なものにモデルチェンジし、新しい活動スタイルを追求してきていることを、解りやすく報告しました。
(奥野)

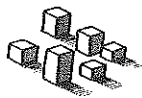
4月から事務局に入った小篠です

はじめまして！今年の3月に事務局を退職した井上副理事長のあと、4月から事務局に入りました小篠和之(おざさかずゆき)と申します。主に地球温暖化対策の推進事業に関わり、家庭での省エネが少しでも普及するように、エコポイント「とよか」や「省エネ相談会」などの事業に携わっていきます。

簡単に自己紹介させていただくと、枚方市在住で年齢は44歳です。今までは、長年環境事業の会社に務めながら、環境NPOで環境教育のサポート活動をしていました。4年前にNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議の事務局職員に転職を

し、3年間事務局を運営したあと、1年間大阪市の地球温暖化対策事業に携わってきました。

今までの経験を活かし、とよなか市民環境会議アジェンダ21の活動がより活発になるよう、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。少し言いにくい名前ですが、事務局にお立ち寄りの節は気軽に呼びかけて下さい。(小篠和之)

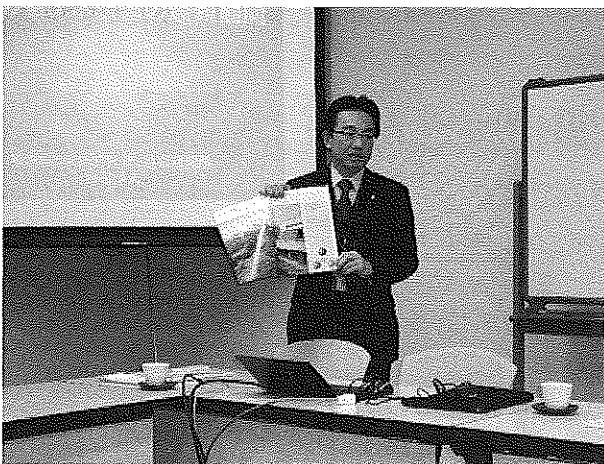


温暖化対策プロジェクト

省エネ住宅見学会

3月13日(土)、京都府木津川市にある積水ハウスの納得工房を訪れました。この日は、アジェンダが提案公募型委託事業として受託し市と協働で取り組んでいる地球温暖化防止プロジェクトに役立てようとメンバー8人が参加しました。

初めにプロジェクターを使った詳しい説明を聞いた



後、広大な見学施設の一部を見学しました。まずは太陽光発電の取り付け例や、給湯設備の実物を見ながらの説明です。給湯器は電気・ガスのそれぞれの特徴や性能を聞くことができ、設置場所のスペースやライフスタイルを考えながら選べばよいということがよくわかりました。

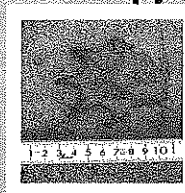
次に外気が同じに設定された2つの部屋に入り、体感温度を肌で感じる設備です。普通の造りの部屋ではかなりヒンヤリと寒さを感じましたが、断熱設備を施した部屋ではあまり寒さを感じず、窓や壁、床の断熱効果を肌で感じる事ができました。また二重窓は省エネ効果が高く、住宅エコポイントの対象でもあるので最近注目を集めていますが、南向きの窓は冬場の太陽が差し込んで部屋を暖めることを考え合わせて設置を決めるとよいということで、西日が差し込む窓などは特に効果的だということでした。

ここで教えていただいたり、体験したりしたことを今後の省エネ相談会などで生かしていきたいと思えます。また、広く市民の方々にも見ていただけるように一般市民向けの見学会も開催できればと考えています。その際にはみなさんぜひご参加ください。

(茨木かづ子)

環境クイズ

やや！このケッタイな足跡の主は何者でしょうか？
最近では豊中でも増えています。



- ① カッパ
 - ② アライグマ
 - ③ ヌートリア
- (こたえは8ページ)

入会案内リーフレット新しくしました

これまで団体の紹介に使っていたリーフレットはかなり以前に作成したものであったため、今年春にリニューアルした新しいリーフレットを作成しました。

A4サイズ3つ折の2色刷りはこれまでと同じですが、一番の特徴は中面に各部会・プロジェクトの主な活動を具体的に掲載したことです。各部会・プロジェ



クトの活動がわかりやすくなったため、このリーフレットを見て、入会希望者が増えればと期待しています。その他にも、写真などを新しく、前より表現も簡単になりました。リーフレットはたくさんありますので、行事などで配布していただける方は事務局までご連絡ください。

(廣田学)

第2次豊中アジェンダ21策定委員会

当団体では、市民・事業者・行政の行動計画である「豊中アジェンダ21」の推進を通して、持続可能な地域社会の実現をめざしているところですが、現在「豊中アジェンダ21」の第2次策定に取り組んでいます。

「豊中アジェンダ21」は、1999年に101項目の行動提案としてスタートし、2005年に88項目に改定しました。この度、1999年から10年が経過したこと、改定の際に2009年度から本格見直しを実施するとしたことなどを受けて、「第2次豊中アジェンダ21策定委員会」を立ち上げました。策定委員会は、2009年7月から毎月1回ペースで「第2次豊中市環境基本計画」と共有する「望ましい環境

像」や「環境目標」、88項目の行動提案などについて議論しています。

「望ましい環境像」のアイデアについては、2009年に当団体と環境政策室が協働して市内各地で市民ワークショップを開催し、ワークショップで市民から出た意見を集約して、策定委員会で議論を深めました。

なお、「第2次豊中アジェンダ21」の策定主体は、約140の構成団体からなる「とよなか市民環境会議」ですが、当団体は各部会から3人の委員が策定委員会へ参加するとともに、事務局を担っています。策定期間は2011年6月までの2年間で、現在までの途中経過については、2010年6月16日(水)のとよなか市民環境会議の総会の中で報告します。(廣田学)

環境とわたし

《25》

岡恒夫さん

自然部会



見上げると空にトビが輪を描いて飛んでいます。ピーヒョロロという鳴き声も聞こえてきます。すぐ頭の上ではギンヤンマが追っかけっこをしています。下を見ると足もとの水たまりにはトノサマガエルが、木陰にはカタツムリがのんびりと休んでいます。

これは私が子どもの頃、岡町の商店街の近くに住んでいた時の家の裏の空地や大門公園での風景です。それはごく日常のことであり、かつての豊中の自然環境でした。桜塚高校の向こうまで行くと田んぼがあり、メダカが泳いでいるのを見ることができました。畦道から手をのばしてメダカをすくって持ち帰り、家で飼っていました。これが私とメダカの出会いとなり、一時はメダカの社会行動について観察に

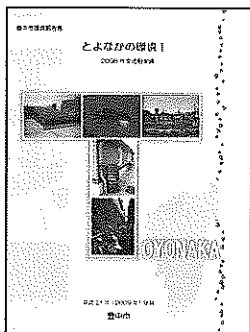
没頭していました。

職業についてからも豊中のあちこちをよく歩きましたので、この半世紀ほどの間の変化はずっと見てきました。初めは、

街が開けるためならまあいいかなぐらいに思っていた土地開発は、いつの間にか森も林もなくなってしまい、住宅地に変えてしまいました。もっと早く何とかならなかったものかと今になって思うばかりです。

大切なものを無くしてしまうことのないよう気をつけなければならないと思います。

市内で活動している市民団体・事業者・NPOのみなさんの 平成21年度（2009年度）の環境活動をお知らせください！



毎年、9月に発行する市の環境報告書「とよなかの環境 I」では、市の活動実績を報告するとともに、あわせて前年度の市民団体や事業者の環境活動事例を紹介しています。

皆様からお寄せいただいた環境活動をまとめ、「豊中アジェンダ 21」の推進に役立てていきますので、ぜひ情報提供にご協力をよろしくお願ひします。



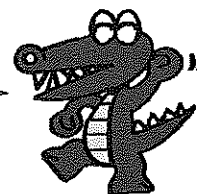
ご回答方法

「とよなかの環境Ⅱ～2008年度評価と今後の展望」（H22.3発行）巻末の『環境活動状況記入票』にご記入のうえ、6月30日（水）までに環境政策室あてお送りください。市のホームページからダウンロードもできます。（トップページ→くらしのガイド「ごみ・環境」→「市民活動情報」）メール・郵便・ファックスのほか、直接お持ちいただいても結構です。

【提出先】豊中市環境政策室地球環境チーム（〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1）

FAX：06-6842-2802 E-mail：kankyoukeikaku@city.toyonaka.osaka.jp

お寄せいただいた事例は、9月に発行する
「とよなかの環境 I」に掲載します！



太陽エネルギー利用設備を 設置しませんか？

家庭生活で排出される温室効果ガスの大幅な削減に効果がある、太陽光発電システム・太陽熱利用システムの設置に対する補助を行っています。

■内容=「太陽光発電システム」太陽電池の出力1kWあたり3万円、上限12万円まで補助。「太陽熱利用システム」設置費用の5分の1、上限6万円まで補助。

■募集期間=平成22年（2010年）4月1日から平成23年（2011年）2月28日まで。ただし、先着順で受け付け、申し込みが予算額に達した時点で終了。

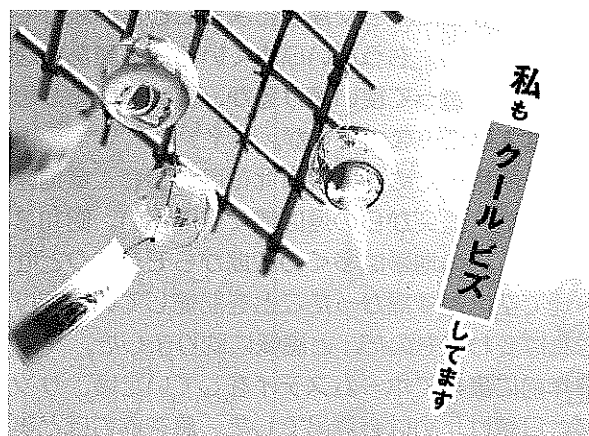
※いずれも着工前に申し込みのこと。

問 環境政策室 6858-2127



夏の省エネルギーキャンペーン 6/1～9/30

「クールビズ」で、さわやかに



電気、ガスなどのエネルギーの消費を抑えると、温室効果ガスの排出が削減できます。地球温暖化防止のため、冷房時の室温を28度に設定し、職場でも家庭でも軽装スタイルで夏を過ごしましょう。

スケジュールのお知らせ

おもちゃ病院 (6月、8月)

第2土曜日 10時~12時
環境情報サロン

とよびー有料頒布 (6月~9月)

第2土曜日&第4水曜日 10時~11時
緑と食品のリサイクルプラザ
(7月の水曜日と8月の土曜日は休みます)

わいわいクラブ

7月16日(金) 10時~12時
環境情報サロン
野菜の上手な保存方法と使い切る調理法

水生生物観察会

7月17日(土) 9時~12時
5歳以上の子どもから大人まで40人
阪急箕面駅改札前集合~箕面川

豊中まつり協賛

活動パネルの展示、
自然工作、竹炭・竹酢液の頒布など
8月7日(土)、8日(日)
環境情報サロン

編集室から

▼忙しく気の張る作業を終えた翌朝は、いつも快い目覚めである。布団を出てFMラジオでバロック音楽を聴く。番組の終わりにアナウンサーが言う「今日もよいことがありますように」に、その日も何かよいことに会いそうな楽しい気分させられる。(Z)

▼久しぶりに島熊山緑地の整備に参加した。入口の案内板は大きくてわかり易い。薄暗かった林内は竹の間伐や整備がされ明るくなって林床には植物たちが芽生えている。足元にはランの葉が数カ所、ササユリも1本...林は命を取り戻しつつある。(H)

▼我が家のプリンタは白黒印刷を指示してもカラーインクが無くなったから交換するようと言いつけて動いてくれません。もうだいぶ古くいろいろ難ありなので、インクを買って使い続けるか、買い替えるか思案中。物は大事に...なのですが。(Y)

▼3月、所用のため、大阪市此花区の臨海工業地区に行きました。煙突からの煙は無く空は青い。昭和30年代初期、この地帯は多くの工場からモクモクと吐く黒い煙で空はどす黒かったことを記憶していただけない、変われば変わるものだ、と感慨に耽りました。(S)

▼数年前に豪州でホームステイをしていた頃、サンガラスと日焼け止めは必需品でした。息を飲むほど美しい星空もオゾン層の減少によるものと聞いて複雑な気分。日本に住んでいると実感がないこの問題を、実際に「肌」で感じた思い出です。(M)

▼ある太った友人の話。仕事が忙しいせいか、ここ1年でゲキ痩せしたそうです。仕事用も普段着も新しい

服も、すべてサイズが合わなくなり、全部買い換えたとか。そこから、「体重の急な増減がある意味では環境に優しくない」ことを学んだのに、最近ダイエットに励んでいます。(A)

▼衣替えの季節は娘が要らなくなった服をドサッと出す。数回しか着ていない物でもごみ袋にポイポイ入れる。「もったいない、どうもなってないやん?」「元を取るほど着たで!」「...??」オバちゃんでも着れそうなものはお上がりとして私が着ている。(P)

環境クイズの答 ③ ヌートリア

南米原産の水辺に住む哺乳類。戦前、軍人用の毛皮生産のために輸入・飼育されたが、戦後不要となり放逐されたものが各地で野生化した。ここ数年、千里川や服部緑地周辺でもよく見かけられるようになった。

《広報チーム》

Z奥野、H岡、Y小村、S猪尾、M森山、A廣田、P大村

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/>
Eメール ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp